

【新しい視点やイメージを発見し、効果的な構図を見つける】



効果的な構図を探求する

活用場面

一斉学習
教師による教材の提示

個別学習
個に応じた学習
思考を深める学習
表現・制作

活用した機器等

Chromebook
プロジェクター

活用したアプリ等

カメラ機能
Google Jamboard

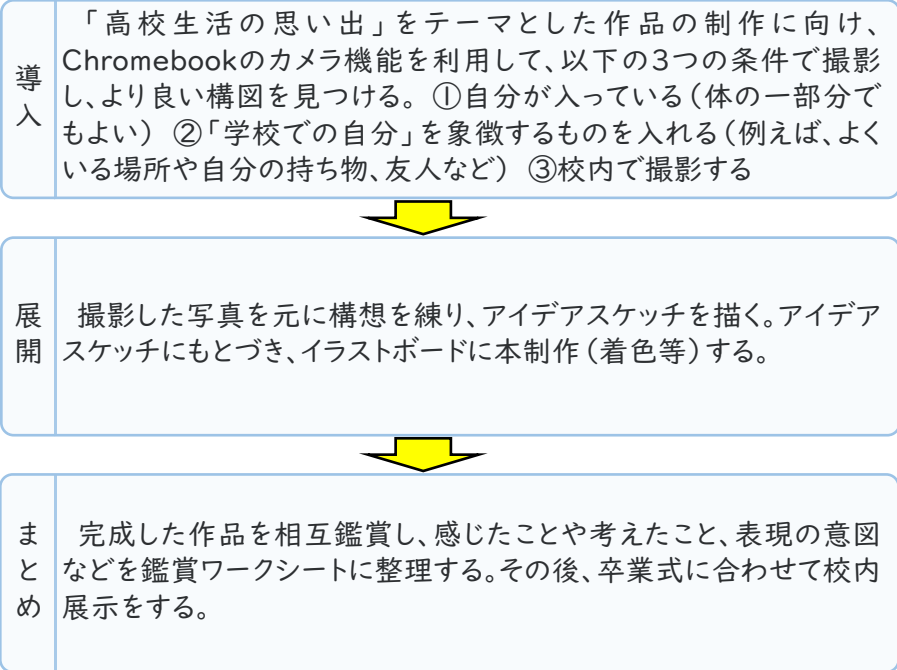


Jamboard上に整理して複数枚の写真をいつでも閲覧

学習のねらい

高校生活3年間をしめくくる集大成として本作品を制作する。その際、Chromebookを活用し、新しい視点や見え方を見出し、より効果的な構図を追求する。

学習の流れ



ココでICTを活用！

構想を練る場面で、新しいイメージを得たり、客観的な視点で試行錯誤を重ね、より良い構図を見つけるためのツールとして、Chromebookのカメラ機能を活用した。撮影の際には、①撮影する角度（アングル）を工夫すること ②モチーフの入れ方や切り取り方（トリミング）を工夫すること ③余白にも注目すること ④何枚も撮影し、画面上で確認することを繰り返すことで新鮮なイメージを探ること ⑤撮影したものを加工して、新しいイメージを探ることもできること、などを教員側からアドバイスした。

撮影した写真がGoogle Jamboardに貼り付けていつでも閲覧できるようにさせた。

最終的には、写真から偶然発見できたイメージや構図も生かしつつ、アイデアスケッチを手描きで完成させた。

活用のメリット、実践の工夫・振り返り等

カメラ機能を使うことによって、新しい視点で風景を見ることができ、独創的な構図も見つけやすい。何枚も撮影して試行錯誤できるため、より良い構図を探求することが容易となり、客観的な視点で確認することもできる。また、制作の資料となる写真をJamboard上に貼り付けて整理しておけば、複数枚の写真であっても一覧できるため、制作に便利であった。

ただし、あくまでも写真は新しい視点や見方を得るために活用したいので、複数のイメージを一つにまとめたり、再構成するためにスケッチブックにアイデアをスケッチする時間も重視するようにした。